

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	作業療法総合実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水2	教室名	403号室・レクリエーション室
担 当 教 員	中川 文子	実務経験とその関連資格	作業療法士として、通所・入所・在宅(身障・精神・小児・老年)でレクリエーションを介した治療の臨床実務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
この科目では、対象者の状態や興味に沿って、適応するレクリエーションについて学びを深める。作業分析、動作分析を行うことにより、対象者にとってより効果的なレクリエーションを選択できるようになる。また、国際生活機能分類の活動と参加の部分となることを学び、対象者の最大限の利益が提供できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート80%、実技16%、平常点(態度・準備)4%で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レクリエーション改訂第2版社会参加を促す治療的レクリエーション(三輪書店)				授業ごとに資料配布		
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
○レクリエーションの企画、運営ができる力をつけましょう。 ○グループの関りを学びましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。		教科書(p.1～7) 配布資料	事後学習 (30分)授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	OTの現場でのレクリエーション活用について レクリエーションについてのオリエンテーション			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。		教科書(p.8～13) 配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	レクリエーションの種類について学ぶ			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。		教科書(p.14～19) 配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	治療的レクリエーションについて学ぶ			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。		教科書(p.22～34) 配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	プログラム立案と展開、実施、効果判定・評価			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。		教科書(p.36～135) 配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	レクリエーション体験 動作分析について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。	教科書(p.139～210)配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) Maslowの基本的欲求とレクリエーションのレポート作成
		各コマにおける授業予定	レクリエーション体験 動作分析について学ぶ		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。	教科書(p.139～210)配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) Maslowの基本的欲求とレクリエーションのレポート作成
		各コマにおける授業予定	レクリエーション体験 種目別に見たレクリエーションについて学ぶ		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。	教科書(p.139～210)配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) Maslowの基本的欲求とレクリエーションのレポート作成
		各コマにおける授業予定	レクリエーション体験 疾患、障害別に見た治療的レクリエーションについて学ぶ		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションの範囲と種類についての理解を深める。 ○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することを理解する。	教科書(p.139～210)配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) Maslowの基本的欲求とレクリエーションのレポート作成
		各コマにおける授業予定	レクリエーション体験 施設別に見た治療的レクリエーションについて学ぶ		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○集団の意義についての理解を深める。 ○具体的なレクリエーションを体験する。	教科書・配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) Maslowの基本的欲求とレクリエーションのレポート作成
		各コマにおける授業予定	グループワーク:症例に対するレクリエーションの企画		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○集団の意義についての理解を深める。 ○具体的なレクリエーションを体験する。	教科書・配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	グループワーク:レクリエーションの発表・実施		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○集団の意義についての理解を深める。 ○具体的なレクリエーションを体験する。	教科書・配布資料	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	グループ発表:レクリエーションの発表・実施		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○集団の意義についての理解を深める。 ○具体的なレクリエーションを体験する。	教科書	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	グループ発表:レクリエーションの発表・実施		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○集団の意義についての理解を深める。 ○具体的なレクリエーションを体験する。	教科書	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	グループ発表:レクリエーションの効果判定・評価		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	○レクリエーションを作業療法として治療的に活用することができる。 ○症例に対するレクリエーション計画ができる。	教科書	事前学習(30分) 次回学習の予習 事後学習(30分) 授業内容の復習
		各コマにおける授業予定	症例に対するレポート作成		